

2019年度 第2回10月名大本番レベル模試地理 採点基準

**1 単答記述問題**

誤字，脱字，漢字間違いは0点。

**2 論述問題**

① 「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。

② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

**3 共通減点基準**

① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは1点減点。

② 下線の付け忘れは1点減点。

③ 指定用語不使用は1点減点。

④ 字数オーバーは1点減点。

\*減点しなくていい要素，その他の注意

① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇔スロベニア，パキスタン⇔パーキスターンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。

② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は0点だが，減点はしない。

③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。

④ 文章が未完のものも減点しない。

**4 採点記号について**

1. <□□□□> 加点ポイント
2. □□□□× 事実に誤認あり
3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

## 5 設問別加点基準

- 1) \_\_\_\_\_部分は必須キーワードであり、この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「②(①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。
- 4) 「A」が「B」→1点 は、「A」と「B」の両方の要素があれば1点加点する。

### 問題Ⅰ (50点)

#### 問1

運河の名称 2点 パナマ運河

記号 2点 あ

理由 6点

パナマ運河は閘門式なので船の全長に制限があるから。

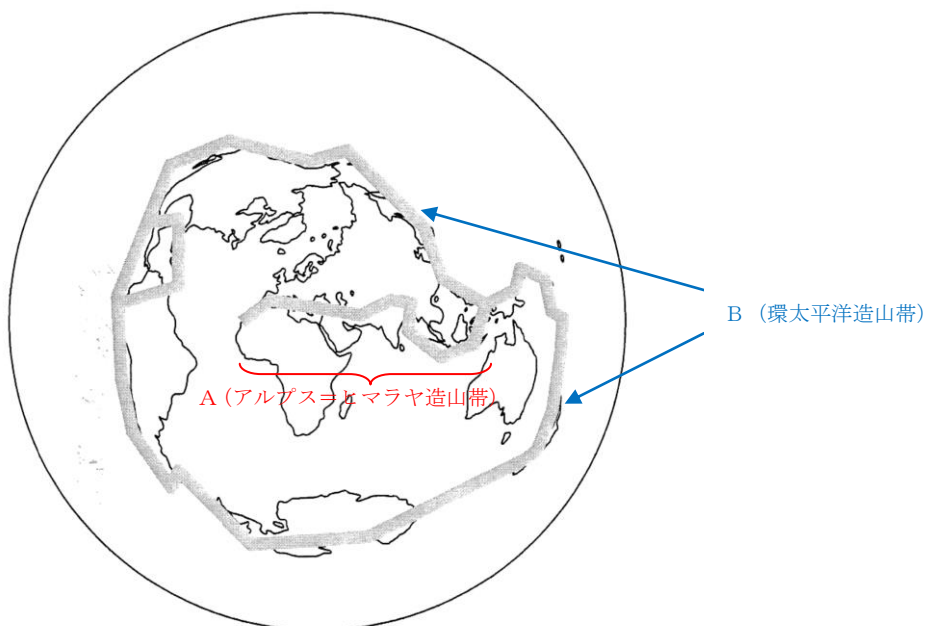
【加点ポイント】

★問1「記号：あ」を正解していることを加点の前提とする

- ① 閘門式運河である →3点
- ② 船の全長に制限がある／「い」より通れる船のサイズが小さい →3点

問2 4点 ②, ⑩ (※3つ以上の解答を記した場合, -2点)

問3 作図 8点



【加点ポイント】

- ①A アルプス=ヒマラヤ、B 環太平洋の2つの造山帯 それぞれに **4点** を与える。
- ②A について、a アルプス山脈 b ヒマラヤ山脈を含まない重大な欠如は **-2点**  
a~b間のルートはずれ、bより東側のインドネシア付近までのルートミスなどは **-1点**
- ③B について、c アンデス山脈 d ロッキー山脈 e 日本列島 f フィリピン諸島  
g ニュージーランド のいずれかを含まない重大な欠如は **-2点**  
その他の軽微なミス、南極の欠如などは **-1点**  
(※中部アメリカで2つに分かれる部分の減点はなし)

問4 2点×3 A:(ウ) B:(イ) C:(ア)

問5

グラフ 2点 ア

位置 2点 B

理由 8点

オゾン層破壊によるオゾンホールは極地域で顕著なので、オゾン全量が急減しているアがZのグラフである。オゾン層を破壊するフロンガスは1980年代のウィーン条約、モントリオール議定書によって規制されたので、オゾン全量の減少が沈静化しはじめるBが1990年である。

【加点ポイント】(※問5「グラフ」「位置」の可否は問わない)

- ① オゾンホールは極地域で顕著である／南極上空はオゾンホールが大きい →2点
- ② アのグラフはオゾン全量が急減している／アはイよりオゾン全量が少ない →1点
- ③ B以降オゾン全量の減少が沈静化した  
／B以降はオゾンがあまり減っていない →1点
- ④ フロンガス／フロンの排出が規制されるようになった  
／フロンガス／フロンが削減されるようになった →2点
- ⑤ (④は) 1980年代からである／1985年(1980年代)にウィーン条約が締結された  
／1987年(1980年代)にモントリオール議定書が採択された →2点

問6 10点 [指定語句] 溶岩流 噴石 火山泥流 (下線不要)

崖の地図記号から御岳の東側は陥没しているのでA地点は溶岩流の被害を受けやすい。B地点は火口より標高が高いため溶岩流の被害は考えにくい、火口に距離が近く、噴火が小規模でも噴石の被害を受けやすい。C地点は山麓からの溝状の谷地形の中なので火山泥流の被害を受けやすい。

「指定語句」抜けは、1つにつき-1点

【加点ポイント】

A地点について (3点)

- ① 溶岩流の被害を受けやすい／火砕流の被害を受けやすい →1点
- ② (①の理由として) 御岳の東側は陥没している／火口の崖下にAは位置する  
／火口の東側は急に標高が低くなっている →2点

B地点について (4点)

- ① 噴石の被害を受けやすい →1点
- ② (①の理由として) 火口に近い →2点
- ③ 火口より標高が高いため 溶岩流／火砕流／火山泥流 の被害は受けにくい →1点

C地点について (3点)

- ① 火山泥流の被害を受けやすい →1点
- ② (①の理由として) 谷地形の中である／谷の麓に位置する →2点

問題Ⅱ (50点)

問1 3点×3 ①：朝鮮特需／朝鮮戦争 ②：筑豊 ③：重量減損

問2 3点×3 A：ウ B：オ C：イ

問3 8点 [指定語句] 技術 輸送費 (下線不要)

技術革新により，原料である石炭の使用量が減少し，大型の鉱石専用船の開発により輸送費が減少したことで，原料の輸入に便利で消費地に近い

【加点ポイント】

(※解答文の後に「臨海部に立地するようになったんだ。」が続かないものは -1点)

- ① (臨海部の利点として) 原料の輸入に便利 →2点
- ② (臨海部の利点として) 消費地に近い →2点
- ③ 技術革新により，石炭の使用量が減少した →2点
- ④ 輸送費が減少した →1点
- ⑤ (④の理由として) 大型の鉱石専用船の開発 →1点

問4 7点 [指定語句] 大麦 普遍 (下線不要)

ビール工業は，局地原料である大麦やホップの重量より，普遍原料である水の重量の方が大きい

【加点ポイント】

(※解答文の後に「から消費地の近くに立地しているのね。」が続かないものは -1点)

- ① 局地原料として大麦を使う →2点  
(単に「原料として大麦を使う」は1点)
- ② 普遍原料の水を使う →2点
- ③ 水の重量が大麦より大きい／局地原料より製品の重量が大きい  
／ビール重量のほとんどを水が占める →3点

問5 10点 [指定語句] 政策 加工区 (下線不要)

マレーシアは日本や韓国を見習おうというルックイースト政策，ベトナムは市場経済の導入や国際分業を前提とした産業づくりをめざすドイモイ政策により，外国企業を優遇して誘致する輸出加工区を設けて工業化を推進した。

【加点ポイント】

マレーシアについて

- ① ルックイースト政策を行った →2点
- ② (①の内容として) 日本／韓国 を見習う (手本とする) →2点

ベトナムについて

- ① ドイモイ政策／ドイモイ を行った →2点
- ② (①の内容として) 市場経済の導入／国際分業に対応 →2点

両国共通の政策として

- ① 輸出加工区を設置した →1点
- ② (①により) 外国企業を誘致した／外資を導入した →1点

問6 7点

組み立て型工業であるコンピュータの生産は労働力指向型の工業であり，中国においては沿岸地域の労働費が高騰しているため，安価な労働力が豊富な内陸部に立地するようになっている。

【加点ポイント】

- ① (生産地域の変化として) 沿岸部から内陸部に立地するようになった →2点
- ② (①の理由として) コンピュータの生産は労働力指向型の工業である →3点
- ③ (①の理由として) 沿岸地域 (2012年の生産上位地域) の労働費が高騰した  
／内陸部の方が労働費は安価である →2点

問題Ⅲ (50点)

問1(1) 2点×5

A: エチオピア B: パキスタン C: 韓国 D: 中国 E: スウェーデン

問1(2) D 5点

1970年代前半までは人口爆発の状態であったが、その後、一人っ子政策等の人口抑制策の効果が出て、合計特殊出生率が急速に低下した。女性が製造業や農業の重要な労働力であり、その経済活動人口比率は比較的高いため。

【加点ポイント】

★問1(1)「D: 中国」を正解していることを加点の前提とする

- ① 1970年代から合計特殊出生率が急速に低下した →2点  
 (※「1980年頃」も可。年代無しや年代違いは1点)
- ② (①の理由として) 一人っ子政策 →1点
- ③ 女性の労働力率(経済活動人口比率)が比較的高い →1点
- ④ (③の理由として) 女性が農業や製造業の重要な労働力である  
 /農業(製造業)に従事する女性が多い →1点

問1(2) E 5点

早くから少子高齢化が進んだが、女性が育児と仕事を両立しやすくなるように育児休業等の制度の改革が進められた。その結果、子育て世代の女性の経済活動人口比率が高くなり、1980年代頃には合計特殊出生率が向上したため。

【加点ポイント】

★問1(1)「E: スウェーデン」を正解していることを加点の前提とする

- ① 図1・図2から読み取れる事柄として
  - ・早くから(1950年代から)合計特殊出生率が低い  
 /早くから少子高齢化が進んだ
  - ・子育て世代の女性の労働力率(経済活動人口比率)が高い  
 /子供を産んでも仕事を続ける女性が多い
  - ・1980年代頃には(近年は)合計特殊出生率が向上した
 } 1つ2点  
 4点まで
- ② (近年の背景として) 女性が育児と仕事を両立できる制度改革が進められた  
 /育児休業等の制度が整備された/保育制度が充実した  
 /父母の両方に育児休業が認められている →1点

問2(1) 3点×4

ア：エッセン イ：ロンドン ウ：サンパウロ エ：ラゴス

問2(2) 10点

過密化した旧市街をグリーンベルトで囲んで市街地の無秩序な拡大を防いだ上で、旧市街から人口を分散させるための職住近接型のニュータウンを、グリーンベルトの外側に建設した。その結果、1970年代頃まで人口が減少した。その後、旧市街のドックランズなどでウォーターフロントの再開発がなされると、近代的なマンションなどに富裕層が入居するジェントリフィケーションが進み、再び人口が増加した。

【加点ポイント】

★問2(1)「イ：ロンドン」を正解していることを加点の前提とする

- ① (1960年から) 1970年代頃までは人口が減少した →2点
- ② (①の背景として) グリーンベルトを設け市街地の拡大を防いだ →1点
- ③ (①の背景として) グリーンベルトの外側にニュータウンを建設した →1点
- ④ (③の特徴として) 職住近接である  
／ニュータウンの中に職場(工場/オフィス)がある →1点
- ⑤ 近年は(1990年頃から)人口が増加している／人口回帰が起きている →2点
- ⑥ (⑤の背景として) 再開発が進んだ →1点
- ⑦ (⑥の場所として) ウォーターフロント/都心/旧市街/港湾部/ドックランズなど  
→1点
- ⑧ (⑥について) 高層マンションが建設された／富裕層が流入した  
／ジェントリフィケーションが進んだ →1点

問2(3) 8点

両都市とも、人口爆発によって農村で余剰労働力となった人々が就業機会を求めて大量に流入したため、人口が肥大化した。特にラゴスは、砂漠化の進行するサヘルから、家や農地を失って流入する人々も大量に加わったため、より速い人口増加のペースとなった。

【加点ポイント】

★問2(1)「ウ：サンパウロ」と「エ：ラゴス」を正解していることを加点の前提とする

ウ・エ共通の要因として(5点)

- ① 人口爆発 →2点
  - ② 農村からの人口流入 →1点
  - ③ (②の目的として) 就業機会を求めて／職を探して／余剰労働力となったので →2点
- エの背景となる環境問題として(3点)
- ① 砂漠化の進行 →2点
  - ② (①の場所として) サヘル →1点



問題IV (50点)

問1 2点×4 ア：b イ：d ウ：c エ：a

問2 9点

アの都市の周辺は灌漑網が発達しており、ブドウやかんきつ類など夏の乾燥に耐える樹木作物のほか、大都市への近接性を活かした野菜や米の栽培も盛んである。湿潤地域と乾燥帯の境界付近に位置するウの都市の周辺は、元々はプレーリーと呼ばれる草原地帯であり、枯草の腐植が蓄積した肥沃な黒色土壌のもとで、トウモロコシ・大豆等の飼料作物の栽培と、豚・肉牛等の家畜飼育を組み合わせ、混合農業が営まれる。

【加点ポイント】

<アについて> (4点)

★問1「ア：b」を正解していることを加点の前提とする

- ① 夏の乾燥に耐える樹木を栽培する／地中海式農業が行われる →2点
- ② ブドウ(かんきつ類／オリーブ／コルクガシ)などを栽培する →1点
- ③ (①に関連して)

- ・灌漑網が整備された
  - ・野菜(米)なども栽培される／近郊農業(園芸農業)も盛ん
- } いずれかで 1点

<ウについて> (5点)

★問1「ウ：c」を正解していることを加点の前提とする

- ① 混合農業が行われる／飼料作物の栽培と家畜飼育が行われる →2点
- ② (①の内容として) トウモロコシ／大豆 の栽培  
／コーンベルトである／とうもろこし地帯である →1点
- ③ (①の内容として) 豚／牛 の飼育 →1点
- ④ (①の背景として)

- ・湿潤地域と乾燥帯の境界付近である
  - ・プレーリーである／草原地帯である
  - ・肥沃な黒色土壌が分布する／プレーリー土が分布する
- } いずれかで 1点

問3 3点×2

Pの都市名：ヴァンクーヴァー／バンクーバー

アジアの都市名：ホンコン／香港

問4 3点×2

Qの都市名：ケベック

言語名：フランス語

問5 9点

Rは北緯37度の緯線である。その北側は、石炭や鉄鉱石などの資源に恵まれ、五大湖周辺を中心に早くから鉄鋼、自動車等の重工業が発展したが、日本など後発の工業国の台頭により斜陽化した。一方、開発が遅かった南側は、豊富で安価な労働力と土地、温暖な気候、石油資源を背景に、ハイテク工業や石油化学工業などの成長が近年著しく、サンベルトと呼ばれる。

【加点ポイント】

① (Rの緯線について) 北緯37度 →2点 (※「北緯」無しは不可)

② (Rの北側について)

- ・ 早くから重工業 (鉄鋼業/自動車産業) が発展した
  - ・ 石炭 (鉄鉱石) などの資源に恵まれる/五大湖の水運に恵まれる
  - ・ 重工業は斜陽化した/重工業は不況となった
  - ・ フロストベルト (スノーベルト) と呼ばれる
  - ・ 近年は再開発によりハイテク街として再生を果たしたところもある
- } 1つ1点  
3点まで

③ (Rの南側について)

- ・ 近年ハイテク工業 (先端技術産業/石油化学工業/航空宇宙産業) が発展している
  - ・ 安価な労働力/安価で広い土地 に恵まれる
  - ・ 石油資源に恵まれる
  - ・ 税制優遇などにより企業誘致が進められた
  - ・ 気候が温暖である
  - ・ サンベルトと呼ばれる
- }

1つ1点 4点まで

問6(1) 1点×3 X:北東部 Y:南部 Z:西部

問6(2) 9点

アフリカ系は南部に多い。南部は綿花栽培が盛んであり、その農園で働く奴隷として、彼らの祖先がアフリカから連れてこられたためである。また、北東部、中西部の大都市や工業都市にも、低賃金労働に従事するアフリカ系が多い。ヒスパニックは、アメリカ合衆国内でスペイン語を母語としている人々を指し、職を求めてラテンアメリカから移住した人々と、その子孫が多い。メキシコ系がメキシコとの国境付近に多く暮らす。ニューヨークにはプエルトルコ系、フロリダにはキューバ系も多い。

【加点ポイント】

<アフリカ系について> (4点)

- ① (分布の特徴) 南部に多い →1点
- ② (①の背景) 奴隷の子孫／アフリカから労働力として連行された人々の子孫 →1点
- ③ (②の働き先として) 綿花栽培／綿花農園 →1点
- ④ (その他の分布) 大都市 (工業都市／ニューヨークなど) にも労働者として分布 →1点

<ヒスパニックについて> (5点)

- ① (定義) スペイン語を母語としている人々 →1点
- ② (分布の特徴) メキシコとの国境付近に多い／南西部に多い →1点
- ③ (①の背景) 「職を求めて」＋「ラテンアメリカ (メキシコ) から」移住した →1点
- ④ (その他の分布) ニューヨークにはプエルトルコ系 (からの移住者) が多い →1点
- ⑤ (その他の分布) フロリダにはキューバ系 (からの移住者) が多い →1点